

六ツ美中部小学校
校長室だより
令和6年10月15日



第7号

いつもここに元気な子



なのはな



六中小
ホームページ

第5回ざくろの会 ～小学校部活動の在り方を考える Part3～

第5回ざくろの会を令和6年10月3日(木)に開催しました。今回のテーマは部活動。18:00から図書室で行いました。

参加者は保護者4名、総代会など地域の方3名、学校運営協議会委員5名でした。ありがとうございました。

今回のざくろの会では、まず、これまで議論を重ねる中でまとまってきた部活動の在り方に関する方向性を示しました。そして、具体的な「仕組みづくり」の段階に入ったことを確認しました。

これまでの議論は、地域、家庭、学校で「ビジョン」を共有するものでした。これからは、子どもの健やかな成長のために大切なことは何かという視点をぶらさずに、実現の可能性を踏まえた、より具体的な議論になってきます。そのためには、たたき台が必要なので、本日出た意見を踏まえたロードマップ等を作成する予定です。「ゴール」から逆算して、今年度中に地域、家庭、学校が何をすべきか、それぞれの役割が明確になるとよいと思います。



地域・家庭・学校で知恵を出し合う

11月7日(木)の第6回ざくろの会でも部活動をテーマにします。18時開始の予定です。

楽しい学校づくり ～体育委員会 学校逃走中～

前期体育委員会が、昼休みに、中部っ子みんなが大好きな「学校逃走中」を企画してくれました。先生たちも参加し、中部小のみんなで走り回って楽しみました。笑顔あふれる企画となりました。

第5回ざくろの会 ～今後の部活動の在り方～

<これまでの議論でまとまってきた方向性>

- ◆ 異年齢集団で、スポーツや文化に親しみ、主体性や創造性を育む仕組みとする。
- ◆ コミュニティ・スクールとして、地域学校協働活動の文化・スポーツ部会の活動として位置付ける。
- ◆ まずは、今ある部活動をベースに、地域や保護者がどうかわれるか考える。
- ◆ 一定程度、教員のかかわりも必要である。
- ◆ 子供が参加を選択できるものとする。

<地域学校協働活動としての部活動の在り方>

- 令和8年度までは小学校部活動の大会があると聞いている。令和9年度以降は不透明。
- 令和8年度までのことと、令和9年度からのことは分けて考えていきたい。
- 大会があるなら、引率や大会運営のこともあるので、教員のかかわりは必要である。
- 責任の所在があいまいにならないようにしたい。
- 地域の方や保護者が指導者としてかわる場合は、ボランティアとなる。
- 指導者の確保が課題となる。
- 「スポーツや文化に親しむ」ことが目的なら、技術的な指導はそこまで必要ないので、地域の子供のために力になりたいという人はいるだろう。
- 競技性を強く求める子供や保護者は、クラブチーム等に参加することになるだろう。
- ロードマップを示して議論を進めていきたい。

<令和9年度以降を見据えて>

- 吹奏楽団など市民の活動団体との連携も有効だろう。
- 放課後の居場所としての機能に重きを置くなら、部活動の種目ばかりでなく、「ボードゲーム」などをみんなで楽しむのもよいだろう。



楽しい学校にしましょう！



先生をつかまえるぞ！